

議員提出議案第24号

幼児教育無償化の充実を求める意見書提出について

上記の議案を提出する。

平成30年12月12日

提出者	調布市議会議員	平野	充
賛成者	調布市議会議員	狩野	明彦
	同	内藤	美貴子
	同	橘	正俊
	同	須山	妙子

幼児教育無償化の充実を求める意見書

幼児教育は人格形成に大きな影響を及ぼす。また、教育費の負担の重さが少子化の一因にもなっている。

2017年12月には幼稚園・認可保育所・認定こども園を無償とする経済政策パッケージでの幼児教育無償化が決定した。さらに、本年6月15日閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太の方針）では、2019年10月から認可外（認可外保育・認証保育・保育ママ・ベビーホテル・幼稚園の預かり保育など）も含め幅広く無償化への流れができた。

今後の課題としては、保育の質の確保や保育の受け皿の整備、その他、多様な保育ニーズに対応できることが求められる。

よって、国として幼児教育無償化の充実に向け、下記の事項に取り組むことを強く求める。

記

- 1 2020年度末までに、プラス32万人の保育の受け皿を整備すること。
- 2 認可外施設の届け出を促すとともに、都道府県などの指導監督を強化すること。
- 3 幼稚園、保育所、認定こども園以外の類似施設も含め、対象範囲を拡大し、利用者負担の軽減に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月 日

調布市議会議長 田 中 久 和

提出先

内閣総理大臣

文部科学大臣

厚生労働大臣